



2025～2026年度



週報

糸魚川

2025.12.18

第3061例会

No.23

2025.12.11

(第3060例会 No.22合併号)

◆会 長 赤星賢二 ◆クラブ会報雑誌 長谷川淳一  
◆例 会 場 ヒスイ王国館 糸魚川市大町1-7-11 TEL.025-553-1210  
◆例 会 日 毎週木曜日 12:30～13:30  
◆創 立 1960年9月10日 ◆承認 1960年10月12日  
◆事 務 局 新潟県糸魚川市寺町 糸魚川商工会議所内 TEL.025-552-1225  
◆糸魚川RC HP <https://www.itoigawa-rc.jp/>  
◆第2560地区HP <https://www.rid2560niigata.jp/>

### ●本日のプログラム●

- ・点 鐘
- ・四つのテスト
- ・会 歌 我らの生業
- ・会長挨拶
- ・幹事報告
- ・委員会報告
- ・ニコニコ箱担当委員・その他委員会
- ・年次総会

#### 【次第】

##### 第1号議案

クラブ細則の件

##### 第2号議案

次々年度(27-28年)会長選出の件

##### 第3号議案

次年度(26-27年)役員理事選出の件

- ・点 鐘

### 次回例会プログラム

- ◇12月25日(木) 休会日
- ◇1月1日(木) 休会日
- ◇1月8日(木) 通常昼例会

### 出席報告

- ◆12月4日(木) 19名
- ◆12月11日(木) 18名

12月のRIレート 1ドル/ 156円

### 幹事報告

- ◆12月11日(木)膳処くろひめにて夜間移動例会「忘年会」が開催されました。  
出席者 18名

◆12月18日(木)ヒスイ王国館 姫川にて臨時理事会が開催されました。出席者 18名

#### ◇年次総会開催案内

日 時 12月18日(木) 例会時12:30～  
会 場 ヒスイ王国館(例会場)

#### ◇第7回定例理事会開催案内

日 時 12月18日(木)13:40～(例会終了後)  
会 場 ヒスイ王国館 姫川

#### ◇夜間移動例会「合同新年会」開催案内

日 時 令和8年1月15日(木) 18:30～  
会 場 笹倉温泉  
会 費 4,000円

※昼例会はありません。

#### ニコニコ箱 12月4日 \*\*\*\*\*

赤星 賢二君 山中様、本日、卓話ありがとうございます。

猪又 直登君 山中様、本日はありがとうございます。卓話、楽しみにしています。

後藤 幸洋君 山中さん、お話楽しみにしています。

大島 證道君 大工屋敷、和泉、根小屋、大野、水保、今村新田など秋寺役も無事終わりました。

\*\*\*\*\*

#### ◆個人寄付 12月4日(4名 19,000円)

| 氏 名     | スマイル  | R財団   | 米山財団  |
|---------|-------|-------|-------|
| 赤星 賢二 君 | 1,000 | 1,000 | 1,000 |
| 大島 證道 君 | 3,000 | 4,000 | 3,000 |
| 猪又 直登 君 | 1,000 | 1,000 | 1,000 |
| 後藤 幸洋 君 | 1,000 | 1,000 | 1,000 |
| 合 計     | 6,000 | 7,000 | 6,000 |

## ◆中央RCコーナー

12月19日(金) 移動例会「職場訪問」

### 下期会費のご案内

|       |         |       |        |
|-------|---------|-------|--------|
| 会 費   | 85,000円 | 米山財団  | 5,000円 |
| ポ リ オ | 1,000円  | 誕生日祝  | 3,000円 |
| スマイル  | 5,000円  | 登 録 料 | 6,000円 |

合計 105,000円

※口座振替日 1月15日(木)

よろしくお願いします。

## 12月4日の卓話 \*\*\*\*\*

### ゲスト卓話

imotion 株式会社

代表取締役 山中 聡史 様

「採用活動をブランディング」



今年8月、私は新たに糸魚川で Imotion を立ち上げました。Imotion という社名には、立ち上げ当初から「ブランディング」と「広告」を強く意識した想いが込められています。

私は糸魚川で起業する以前、東京で会社を経営していました。その経験の中で強く感じたのは、まだ無名であっても、露出し続けることが何より大切だということです。

「有名でないのに露出できるのか?」と思われるかもしれませんが、しかし、工夫次第でその機会は作れます。例えば、就職活動中の学生が多く集まる合同企業説明会では、企業が あいうえお順 に並ぶことが多くあります。この場面で、Imotion は頭文字が「I」であるため先頭に配置されやすく、さらにアルファベット表記のため視覚的にもよく目立ちます。その結果、認知が低い段階でも学生の目に留まり、興味を持ってもらえるのです。

実は Imotion という名前にはもうひとつ意味があります。

I は“糸魚川(Itoigawa)”の I。

その I を MOTION(動かす)つまり“糸魚川を動かす”という想いを込めています。

さらに、MOTION には emotion(感情)のニュアンスも重ねています。採用は、実際には多くが“感情”によって決まります。だからこそ、糸魚川の企業がこれからも残り、選ばれ続けるためには、従来の固定概念を手放し、感情に響く採用・発信が必要だと感じています。

求人票を出すだけで人材が集まる時代は、すでに終わりました。「求人票を出し、応募者が集まり、面接をして、合格通知を出す」この従来のプロセス

は、今の採用市場には当てはまりません。

東京の給与水準には勝てず、利便性でも都市部に劣り、さらには雪といった気候条件の厳しさもある。

こうした点を、糸魚川の企業の皆様は少なからず意識しているのではないのでしょうか。

実際、私は多くの企業の求人票を拝見しています。その中で目立つのが、「糸魚川の環境の良さ」を前面に出すアプローチです。「山も海もある自然豊かな街です!」という打ち出し方は非常に多い一方で、それらの魅力は“来てみて初めてわかるもの”がほとんどです。

つまり、糸魚川の良さは“体験しないと伝わらない”部分にこそ多く存在しているのです。そして、この“体験しないと伝わらない魅力”を、求人票の文字情報だけで表現するには限界があります。

これを解決するためのひとつの答えとして、私は応募者に「入社後の自分」を先に体験させることを提案します。仕事内容、働く人の雰囲気、日常の風景、それらを応募者がリアルに想像できる状態をつくるのが、今の採用では不可欠です。

また、糸魚川を“不便な街”と捉えてしまう企業も少なくありません。しかし、その“不便さ”は裏を返せば、自然に囲まれた贅沢な時間とも言えます。都会と比べて勝てないポイントを並べるのではなく、「自分自身の時間をどれほど豊かに扱えるか」という視点で提示すれば、糸魚川はむしろ強みを持つ地域になります。

条件で都市部と競うのではなく、時間の質という価値で勝負する。それこそが、これからの糸魚川の採用に必要な考え方だと私は感じています。

## 夜間移動例会「忘年会」

12月11日(水) 参加者18名

